

昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171~5
<http://www.showa-gkn.ed.jp/js/> FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第36号

2021.3.24(水)

令和2年度 卒業証書授与式



「卒業の言葉」を述べる大谷海人さん

去る3月5日(金)に、令和2年度第72回高等学校卒業証書授与式が、本校メインアリーナで挙行された。本年度の卒業式も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言下のため、卒業生313名と教職員のみの式となった。

今年度は休校や時差登校など通常通りの学校生活を送ることができず、また、部活動では最後の大会が中止となり悔しい思いをした高校3年生は、最後の1日となる卒業式をよき思い出にするために心をひとつにしていた。それは厳粛な雰囲気の中で、一人ひとりが呼名され起立したときの凛とした姿に表れていた。総代に続き、学院賞や今年度新設された全国大会で優勝を果たした生徒に贈られる特別体育賞、皆勤賞・精勤賞、体育賞・文化賞、さらに部活動での活躍を称えた体育奨励賞などの受賞者が表彰された。大井校長の式辞では、新渡戸稟造の言葉「人がパンを目的に生きるなら、自分はパン以上の何かを人生の目標に持てばよい」が引用され、高い志を掲げ、自分の夢や目標に向かってチャレンジし、昭和プライドをもち人生を歩んで



総代の村川千沙都さん

ほしいと大きな励ましの言葉が述べられた。また、生徒代表の大谷海人さんからの「卒業の言葉」は、学年目標の「新たな挑戦 for the future」を掲げた3年間



▲ 後輩からのメッセージ

の思いと友達、仲間そして家族に対する感謝の言葉が述べられた。最後に「どんなにつらくてもこの『今』という瞬間、精一杯挑戦し続けます。」と涙ながらに語られた力強い言葉に会場は大きな拍手に包まれた。卒業式はWeb配信され、出席できなかった保護者にとっても心温まる式となった。

その後、教室に戻った生徒たちは一人ひとり卒業証書と保護者からの花束と記念品を受け取り、担任から卒業生への最後のメッセージが伝えられた。真剣な眼差しでその思いを受け止めた生徒たちは、昭和学院での思い出を胸にこれから目標と夢に向けての新たな決意をし、清々しい表情であった。そして、高校生活最後のイベントとして、生徒たちが作った謝恩会動画が流された。学年役員会を中心となり撮影した動画は、先生方への各賞の発表やダンスやマジックショーなどのパフォーマンスで、教室は笑いであふれた。

最後の一年は制限ある学校生活を強いられ、思い描いていたものではなかったかもしれない。しかし、その中で自分たちができることに精一杯、全力で取り組み、自らの進路も切り開いた生徒たち。最後は涙と笑顔で昭和学院を巣立つていった。その後ろ姿に明るい未来と今後の活躍に向けたエールを送りたい。



最後のクラス写真

SHOWA GAKUIN

高3 課題研究発表会



1月27日(水)午前。中学1年生から高校3年生まで、全ての教室で生徒たちが電子黒板に目を向けていた。画面に映っているのは高校3年生が前日に録画した、「個人探究」についての発表動画だ。医学、

▲評価方法の説明を聞く高1

スポーツ、文学、AI、趣味……様々なことについてスライド資料を用いて語る高校3年生の様子について、皆、メモを取りながらじっと見ている。5つの項目について詳細に定められたループリック(評価規準と評価基準の一覧表)をもとに、先輩たちの発表を真剣な表情で評価しているのだ。

2020年度の高校3年生は、本校で初めて高校1年時から探究活動の時間をカリキュラムに取り入れてきた学年だ。探究活動とは、「答えのない問い合わせについて生徒自身が考えていく教育活動」のことである。1年次は教育と探求社の主導するクエスト・エデュケーションに従い、実在する企業からの新商品開発などのミッションに取り組んだ。2年次では本校オリジナルの学習計画に従ってSDGsについてカードゲームを通して学んだり、



▲先輩の発表に聞き入る中学生

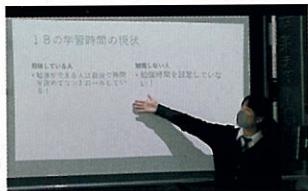
高2・高1 総合探究学年チャンプ

高校2年生は、2月10日に学年チャンプ大会を実施した。朝日新聞、カルビー、博報堂、三菱地所、メニコン、富士通の6社毎に集まり、各企業から課された答えのない課題に対するプレゼンテーションを行った。企業CMや新サービスなど、企業と共に新しい未来をつくるというテーマに取り組んだ。一年間の学びの成果を発信し、クラスの垣根を越えて互いに刺激を受けた時間となった。また、「クエストカップ2021」において1チームが優秀賞を受賞し、2月20日に全国大会に出場した。



▲優秀賞受賞グループ(高2)

高校1年生は、2月24日に総合探究学年チャンプ大会を実施した。生徒自身で課題を見出し仮説立案・検証の方法を学び、プレゼンテーションを行った。今年度はZoomを使用したオンライン形式の発表となったため、各クラス代表は、画面越しの相手に伝えるために創意工夫を凝らしていた。発表を終え、生徒たちは課題を発見し解決する力を養い、他者と協働し、発信する力を身につけることができた。



▲発表の様子(高1)

新生徒会



昨年12月2日(水)に生徒会選挙が行われ、今年2月大井校長より新生徒会役員が任命された。会長の竹石さんは「昨年は多くの行事がなくなりましたが、今期の生徒会は様々な新しいことに挑戦し、楽しい学校にしていきます。そのため生徒会一同努力していくので応援よろしくお願ひいたします。」と、意気込みを語っている。

課題探究メソッドでマンダラートなどの思考整理方法を学んだりした。そして、3年次ではその集大成として、個人の興味のある分野について探究した。

学年を超えた教員一同、手探りで進めてきた探究活動。高校3年生になってからは、各生徒のテーマを大きく13分野に分類し、担当教員を決めて個別指導を強化した。

総合型選抜が受験において存在感を大きくする中で、自分の進路と絡めて深い探究を行い、入試の面接に活かした生徒もいる。発表会の様子を見ると、調べ学習に終始した生徒もいるが、資料の作り方や話の構成など、本校を卒業していくに相応しい立派な姿が見られた。



▲仲間の発表動画を熱心に視聴する高3

で進めてきた探究活動。高校3年生になってからは、各生徒のテーマを大きく13分野に分類し、担当教員を決めて個別指導を強化した。総合型選抜が受験において存在感を大きくする中で、自分の進路と絡めて深い探究を行い、入試の面接に活かした生徒もいる。発表会の様子を見ると、調べ学習に終始した生徒もいるが、資料の作り方や話の構成など、本校を卒業していくに相応しい立派な姿が見られた。

10年から20年後、今ある職業の50%弱が自動化され、なくなると予測されている現代。答えがある問い合わせならばAIが一瞬で終わらしてしまうのが実際である。一方で、何をもって良いとするのか、どうしたらもっと魅力的にできるのかといった答えのない問い合わせは人間だけに挑戦できる領域だ。また、この発表を視聴した他学年の生徒たちからも「発表内容や発表技法について勉強になった」という意見や、発表内の改善点なども寄せられたので、学校の生徒全体にとっても良い学びとなった。

中学校ビブリオバトル

1月27日(水)4,5限において中学校ビブリオバトルが、オンライン形式で開催された。例年と違い、代表生徒は自習室に集まり、他の生徒たちはZoomを利用して話を聞き、記録シートを記入した。代表生徒たちは、1学期末・2学期末と各クラス内で予選を行い、生徒間投票をもって選出された。そして、それぞれが、自分のおすすめ本に対する熱い思いを語ってくれた。そんな発表者の話を全校生徒は熱心に聞き入っていた。発表後の生徒たちの記録シートには「読みたい本が沢山見つかって、全員の発表が自分にとって参考になった。」という感想が多かった。また、今回は高校3年生も発表を聞いており、「中学生の皆さんのが発表レベルが高く、大変驚きました。」

「本の紹介という枠に囚われず、工夫して発表をしていたことが印象的だった。」という感想も多く寄せられた。そして、発表終了後の投票でチャンプ本に選ばれたのは、3年2組宮崎太志さんが紹介した『迷惑メール、返事をしたらこうなった。』(多田文明著)であった。



▲出場者のみなさん

優勝者は例年中学校ビブリオバトル全国大会に出場しているが、残念ながら今年度は中止となつた。生徒たちには、これを機に、様々な本と出会ってほしい。

会長	竹石	翔馬	(2H)
副会長	若三	直太郎	(2E)
記録	鍋田	櫂	(1B)
会計	徳田	楨	(2E)
監査	飯島	隆生	(1K)
会計監査	鈴木	俊平	(2F)
会計監査	福崎	裕太	(1D)
会計監査	中村	真海	(2D)
会計監査	宇佐美	奈々	(1J)

SHOWA GAKUIN

表 彰 者

文部科学大臣優秀教職員表彰



塩屋恵美子教諭が文部科学大臣優秀教職員として表彰された。これは新体操部顧問として生徒の育成に尽力し、特に顕著な成果をあげた功績が認められたものである。塩屋教諭は今回の受賞に関して「生徒たちの夢を叶えられるように、より一層精進していきます。」と抱負を語っている。

第17回日台文化交流青少年スカラシップ2020

応募数：スピーチ部門・作文部門 合計427



奨励賞 「台湾と日本の教育」
(作文部門) 井田 莉子 (3B)



佳作 「台湾の英語教育」
(作文部門) 酒井 嶺 (3A)

理科 理科では毎年、夏休み課題として自由研究（科学レポートまたは科学工夫作品の作成）を行っています。



作品賞 「人によって見え方が違う」
齊藤 裕里 (2D)

*齊藤さんは、2年連続受賞です。

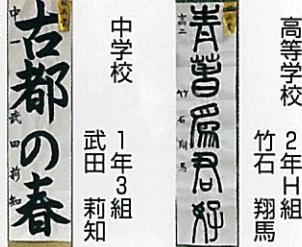
書き初め展

会期：1月30日～2月6日

校長賞



▲ 書初め展の様子



ウインターカップ2020結果発表



▲ 逆転勝利の瞬間 (3回戦)

本年度はコロナ感染症の影響で全国高校総体や国民体育大会が中止となり開催が危ぶまれる中、第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会（SoftBank ウィンターカップ2020）が令和2年12月23日(水)～28日(月)の日程で開催された。

本校は23日から試合が始まり、1回戦鹿児島女子高校、2回戦いなべ総合学園高校に快勝。3回戦は岐阜女子高校と対戦した。試合開始から良い緊張感が漂っていたが、後半に入りミスが続き相手に連続得点を与え、最大16点差を付けられる場面もあった。しかし、最終クォーターに入りじわじわと点差を詰め始め、終了間際に逆転することができた。振り返ると選手達はタフな試合をよく乗り越えてくれた。ベスト4を掛け高知中央高校との対戦。選手達の気持ちが空回りする場面が多く、終始相手のペースで試合が流れてしまい、昭和学院らしいプレイを魅せることができず惜敗した。結果、本年度はベスト8という成績となった。連日、会場に駆けつけて下さった校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様の応援に最後まで勇気を頂き戦うことができた。この悔しさをばねに、次年度に向けて選手達と一緒に目標を達成する努力をしていきたい。



▲ 主将の
三田七南さん

今年度は6月から新チームとしてスタートしました。例年通りの練習ができない中でどれだけ実践を意識し、集中し続けるかどうかが重要であり、私たちの課題もありました。ウインターカップでは大きな喜びと、自分たちに足りなかった部分を知ることができました。来年度は私たちの目標であった「全国制覇」を実現してほしいです。引き続き応援よろしくお願いします。

— 奨学会だより —

～活動を通じて～

執筆：奨学会 木下会長

本年度も会員の皆様におかれましては、日頃より奨学会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。奨学会理事を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、この一年の奨学会活動を振り返りますと、新型コロナの影響により常任理事会を始め、懇親会や桜和祭、文化講演会やバス研修旅行、朝の声掛け運動等ほとんどの行事を中止とせざるをえませんでした。毎年恒例の高校バスケットボール全国大会であるウインターカップや高校野球も無観客開催のため応援に行けず、大変寂しい年になりました。仕方がないこととはいえ非常に残念がありました。

様々な活動に代わるものとして行ったのが地域の美化活動です。地元市川の八幡地区への日頃の恩返しとしJR本八幡駅から学校までの通学路の美化作業を計5回行いました。多くの理事の皆様にご協力を頂きました、日頃より子どもたちを温かく見守っていただいて

いる地元の方、各自治会、市川警察署等多くの方から温かいお言葉を頂戴しましたこと、マスコミ各社から多くの取材を受けましたことをこの場をお借りして報告させていただきます。

奨学会では各々協力して長年培ってきた事業を継承しつつ、過去の反省点を生かして新たな取り組みを実施してまいりました。この美化作業も新たな伝統として取り組めれば幸甚でございます。

次年度になったとき、このコロナ禍が落ち着くかまだ分かりませんが、これからもチーム昭和の一員として、昭和学院の応援団として、「すべての奨学会活動は子どもたちのために」を合言葉に、皆様のお役に立てる事業を実施してまいりますので、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。



▲ 会長 木下主税

SHOWA GAKUIN

主な合格状況

(3月10日現在)

四年制大学

<国公立大>

筑波大	1	神田外語大	2	多摩美術大	2
千葉大	1	文教大	4	千葉経済大	2
埼玉大	1	大妻女子大	5	千葉工業大	145
都留文科大	1	共立女子大	5	千葉商科大	21
<私立大学>		昭和女子大	8	中央学院大	2
明治大	5	白百合女子大	1	帝京科学大	5
青山学院大	4	清泉女子大	1	帝京平成大	20
立教大	7	跡見学園女子大	1	桐蔭横浜大	2
中央大	2	江戸川大	1	東京有明医療大	1
法政大	10	桜美林大	3	東京医療保健大	7
学習院大	1	大阪芸術大	1	東京家政学院大	3
立命館大	1	開智国際大	1	東京経済大	3
立命館アジア大	1	神奈川大	3	東京工科大	10
國學院大	5	神奈川工科大	1	東京工芸大	3
明治学院大	8	川村学園女子大	1	東京国際大	4
武蔵大	1	関西外国语大	1	東京女子体育大	1
獨協大	5	関東学院大	1	東京情報大	4
成蹊大	1	京都精華大	1	東京聖栄大	5
成城大	1	敬愛大	5	東京成徳大	2
東京農大	4	恵泉女学園大	1	東京造形大	1
東邦大	3	工学院大	1	東京福祉大	3
北里大	1	神戸松蔭女子大	1	日本工業大	5
杏林大	4	国際医療福祉大	1	日本獣医生命大	4
順天堂大	5	産業能率大	2	日本女子体育大	2
昭和薬大	1	十文字学園女大	1	日本体育大	3
学習院女子大	1	淑德大	8	文化学園大	1
日本大	32	湘南工科大	2	文京学院大	1
東洋大	8	尚美学園大	1	平安女学院大	1
駒澤大	7	上武大	1	武蔵野音楽大	1
専修大	7	城西国際大	6	武蔵野美術大	3
大東文化大	2	聖徳大	6	明海大	6
東海大	7	仙台大	1	目白大	2
亜細亜大	3	創価大	1	ヤマザキ動物看護大	3
帝京大	8	第一工業大	2	横浜薬科大	1
国士館大	8	大正大	8	立正大	3
芝浦工業大	2	高千穂大	1	流通経済大	2
東京電機大	3	拓殖大	2	丁徳寺大	7
武藏野大	8	玉川大	3	麗澤大	3
		多摩大	1	和洋女子大	9

短期大学

昭和学院短大 4 愛知学泉短大 1 日本大学短期大学部 1

専門職大学・大学校・専門学校

東京保健医療専門大学 1 国立清水海上技術短期大学校 1 他 45

就職

コジマ、NEXTAGE、ENEOS

延合格数

4年制大学 570 短期大学 6 専門学校 47 就職 3

進路指導振り返って

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度の在籍生徒数は313名。学校推薦型・総合型の受験方式での四年制大学での合格者数は、筑波大学・埼玉大学等合計158校、高校3年生全体の50%に当たります。また、一般選抜に挑戦した生徒は124名。最後まで粘り強い努力を続け、進路を決定しました。今年度は共通テストが開始された年でした。予備校の分析では、コロナ禍の影響で、いわゆる記念受験が減った、7科目受験者（おそらく国立大学受験者）の比率が例年より高かった、と言われています。そして、新入試2年目である、令和4年度の共通テストの難化も



▲進路指導部長
松田ひとみ教諭

合格者の横顔

みなさんおめでとうございます。質問は次の①～⑤です。

- ①クラス・文理の別・氏名
- ②今までの合格校
- ③努力したこと
- ④平均学習時間(平日・休日)
- ⑤後輩へのアドバイス



①3B理系 五十嵐えり ②明治大学総合数理学部、青山学院大学理工学部、法政大学情報科学部、立教大学理学部、立教大学コミュニケーション学部、芝浦工業大学工学部、日本大学理工学部、千葉工業大学工学部③学校の授業を疎かにせず、定期考査で常に上位を取ることを目標に勉強した。④平日4時間休日9時間⑤どの勉強に力を入れるべきかを考えてることが大事だと思います。全ての対策に同じ熱量で臨むのではなく、優先順位をつけてください。受験勉強は大変ですが、そこから得られるものも大きいと思います。頑張ってください。



①3B理系 佐藤未帆 ②法政大学生命科学部、明治大学総合数理学部、立教大学理学部、北里大学医療衛生学部、駒澤大学医療健康科学部、杏林大学保健学部、帝京大学医療技術学部、東邦大学理学部、東京工科大学医療保健学部、文京学院大学保健医療技術学部③授業で寝ない。勉強していく日付が変わったら、切りのいいところで終わらせる。④平日4時間休日7時間⑤周りと自分を比較しすぎずに、自分を信じて頑張ってください。



①3D理系 向武蔵 ②青山学院大学理工学部、法政大学デザイン工学部、立命館大学理工学部、中央大学理工学部、千葉工業大学創造理工学部、東洋大学理工学部③英語長文は毎日5つ音読し、数学と物理は同じ問題集を繰り返し解くようにしていた。④平日5時間休日8～10時間⑤次年度も私大の難化が予想されます。今は夢の志望校であっても、自分を信じて毎日勉強し続ければ手の届く目標へと変わるのはずです。後悔のないよう頑張ってください。